



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 創健社

上場取引所 東

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,322	5.8	2		0		4	
2022年3月期第2四半期	2,195	3.6	9		7		4	59.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 5百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 3百万円 (76.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	6.89	
2022年3月期第2四半期	6.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	2,897	1,065	36.8	1,523.27
2022年3月期	2,850	1,078	37.8	1,541.65

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,065百万円 2022年3月期 1,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		10.00	10.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	3.6	14	47.0	16	44.6	10	67.5	14.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	705,500 株	2022年3月期	705,500 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	5,745 株	2022年3月期	5,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	699,755 株	2022年3月期2Q	699,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11
(その他注記事項)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、一昨年来続いた新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）のワクチン接種が進み、まん延防止等重点措置等の解除、経済活動の正常化並びに景気を持ち直しの動きがみられました。一方で、長期化しているウクライナ問題や原油などのエネルギー資源や原材料価格、販売価格等の度重なる値上げ、円安の進行等、景気の先行きを大きく不透明にしております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、コロナ禍における在宅勤務等により家庭内食品に対する需要は底堅く推移いたしました。多くの外食産業がバラエティに富んだテイクアウトを開始したこと等により消費者の選択肢が広がり、巣ごもり需要の縮小に繋がりました。当社グループにおきましては、商談自粛による営業活動の縮小、集客催事の中止や規模縮小が重なり、対面販売をする高額商品（主に健康食品）は試食の復活も遅れ苦戦することとなりました。

このような経営環境の下、化学調味料を使わない無添加自然食品専門企業として50年余の年月を積み重ねてきた歴史に信頼をいただいている当社グループは、第5次中期経営計画『新世代に向けた食の提案』（2020年4月1日～2023年3月31日まで）を作成しました。その最終年度となります当連結会計年度におきましては、オーガニック&プラントベースの分野でカテゴリーNO.1企業を目指し、「withコロナ」を前提とした食品市場における新しい営業活動を想定し、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高の主な増減につきましては、「調味料」が、ごまドレッシング等の売上減があったものの、マヨネーズ等の売上増により前年同四半期比56百万円増（7.6%増）の7億96百万円、「嗜好品・飲料」が、ポテトチップス等の売上減があったものの、グミ等の売上増により前年同四半期比41百万円増（9.9%増）の4億54百万円、「副食品」が、鮭ほぐし等の売上減があったものの、さば缶詰等の売上増により前年同四半期比33百万円増（6.3%増）の5億60百万円、「栄養補助食品」が、ハトムギ酵素等の売上減があったものの、コラーゲン等の売上増により前年同四半期比4百万円増（5.7%増）の74百万円となりました。しかしながら、「油脂・乳製品」が、ココナッツオイル等の売上増があったものの、マーガリン等の売上減により前年同四半期比4百万円減（1.7%減）の2億49百万円、「その他」が、虫よけスプレー等の売上増があったものの、歯磨き粉等の売上減により前年同四半期比2百万円減（4.6%減）の52百万円、「乾物・雑穀」が、プロテイン等の売上増があったものの、パン粉等の売上減により前年同四半期比1百万円減（1.0%減）の1億34百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、23億22百万円（前年同四半期比1億26百万円増、5.8%増）となり、売上総利益率25.2%と前年同四半期比0.2ポイント増となりました。販売費及び一般管理費は5億86百万円（前年同四半期比27百万円増、4.9%増）となり、営業損益につきましては、営業損失2百万円（前年同四半期は、営業損失9百万円）となり、経常損益につきましては、経常損失0百万円（前年同四半期は、経常損失7百万円）という結果にて終了しました。また親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純利益4百万円）となりました。尚、前第2四半期連結累計期間におきまして、投資有価証券売却益が13百万円発生いたしましたので、特別利益に計上しております。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第2四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比	
油脂・乳製品	253,410	11.6	249,223	10.7	1.7%減	マーガリン・ペに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油、カメリナオイル
調味料	739,959	33.7	796,219	34.3	7.6%増	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	413,413	18.8	454,420	19.6	9.9%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)・豆乳・はちみつ製品
乾物・雑穀	136,157	6.2	134,773	5.8	1.0%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび・タピオカ粉末・おから
副食品	527,362	24.0	560,706	24.2	6.3%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	70,660	3.2	74,696	3.2	5.7%増	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碇石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)・くま笹エキス・ビタミンC
その他	54,602	2.5	52,094	2.2	4.6%減	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー・歯磨き粉・ウイルス対策品など
合計	2,195,567	100.0	2,322,135	100.0	5.8%増	—

② 仕入実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	192,853	11.8	181,984	10.3	5.6%減
調味料	553,263	33.9	598,678	33.8	8.2%増
嗜好品・飲料	330,793	20.2	363,546	20.5	9.9%増
乾物・雑穀	112,774	6.9	118,137	6.7	4.8%増
副食品	346,192	21.2	409,720	23.1	18.4%増
栄養補助食品	46,737	2.9	46,859	2.7	0.3%増
その他	51,228	3.1	51,979	2.9	1.5%増
合計	1,633,844	100.0	1,770,906	100.0	8.4%増

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて49百万円の増加となりました。この主な要因は、「商品及び製品」の43百万円増加などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1百万円の減少となりました。この主な要因は、「保険積立金」の8百万円増加などがあったものの、「有形固定資産合計」の6百万円減少、「投資その他の資産その他」の2百万円減少及び「投資有価証券」の1百万円減少などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて47百万円増加し、28億97百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9百万円の減少となりました。この主な要因は、「短期借入金」の15百万円増加などがあったものの、「流動負債その他」の15百万円減少及び「支払手形及び買掛金」の5百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて69百万円の増加となりました。この主な要因は、「長期借入金」の67百万円増加などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて60百万円増加し、18億32百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて12百万円の減少となりました。この主な要因は、「利益剰余金」の11百万円減少（親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円の計上、配当総額6百万円）によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、財務活動の結果72百万円を得て、営業活動の結果42百万円及び投資活動の結果23百万円を使用し、当第2四半期連結会計期間末には11億37百万円（前年同四半期比1億11百万円増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に係るキャッシュ・フローは、減価償却費12百万円などにより一部相殺されたものの、棚卸資産の増加額53百万円などにより、営業活動の結果使用した資金は42百万円（前年同四半期比18百万円減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に係るキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出10百万円及び保険積立金の積立による支出8百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は23百万円（前年同四半期は18百万円の獲得）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に係るキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出1億17百万円などにより一部相殺されたものの、長期借入れによる収入2億円などにより、財務活動の結果獲得した資金は72百万円（前年同四半期は1億49百万円の使用）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想(2022年5月20日に発表いたしました連結業績予想)から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,366,781	1,373,126
受取手形及び売掛金	665,836	654,001
商品及び製品	220,674	264,413
仕掛品	42	63
原材料及び貯蔵品	23,081	32,551
その他	35,655	36,986
貸倒引当金	△75	△73
流動資産合計	2,311,997	2,361,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	316,147	319,037
減価償却累計額	△260,248	△263,197
建物及び構築物（純額）	55,899	55,839
土地	88,371	88,371
リース資産	36,599	36,599
減価償却累計額	△18,073	△20,717
リース資産（純額）	18,526	15,881
建設仮勘定	1,856	96
その他	203,601	206,299
減価償却累計額	△176,967	△181,723
その他（純額）	26,633	24,575
有形固定資産合計	191,287	184,765
無形固定資産		
その他	12,660	12,791
無形固定資産合計	12,660	12,791
投資その他の資産		
投資有価証券	60,751	59,254
保険積立金	223,327	231,763
繰延税金資産	16,903	17,357
その他	34,174	31,901
貸倒引当金	△807	△909
投資その他の資産合計	334,349	339,367
固定資産合計	538,297	536,924
資産合計	2,850,294	2,897,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	460,531	455,429
短期借入金	485,887	501,075
リース債務	5,695	4,929
未払法人税等	12,372	9,280
賞与引当金	22,248	21,933
その他	103,205	87,901
流動負債合計	1,089,939	1,080,548
固定負債		
長期借入金	325,480	392,516
リース債務	11,343	8,938
役員退職慰労引当金	127,500	132,400
退職給付に係る負債	183,021	187,841
その他	34,230	29,832
固定負債合計	681,574	751,529
負債合計	1,771,514	1,832,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	117,155	105,335
自己株式	△11,154	△11,154
株主資本合計	1,072,431	1,060,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,349	5,305
その他の包括利益累計額合計	6,349	5,305
純資産合計	1,078,780	1,065,916
負債純資産合計	2,850,294	2,897,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,195,567	2,322,135
売上原価	1,645,583	1,737,819
売上総利益	549,983	584,315
販売費及び一般管理費	※ 559,473	※ 586,817
営業損失(△)	△9,489	△2,502
営業外収益		
受取利息	33	29
受取配当金	963	1,070
仕入割引	1,551	1,653
貸倒引当金戻入額	23	—
破損商品等賠償金	208	177
その他	1,128	1,206
営業外収益合計	3,908	4,137
営業外費用		
支払利息	2,223	2,218
営業外費用合計	2,223	2,218
経常損失(△)	△7,805	△582
特別利益		
固定資産売却益	71	—
投資有価証券売却益	13,537	—
特別利益合計	13,609	—
特別損失		
固定資産除却損	0	13
保険解約損	232	—
店舗閉鎖損失	165	—
特別損失合計	398	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,406	△595
法人税、住民税及び事業税	1,103	4,226
法人税等合計	1,103	4,226
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,302	△4,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,302	△4,822

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,302	△4,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△483	△1,043
その他の包括利益合計	△483	△1,043
四半期包括利益	3,819	△5,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,819	△5,865
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,406	△595
減価償却費	12,196	12,247
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,500	4,900
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,034	4,820
賞与引当金の増減額(△は減少)	△359	△315
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23	99
受取利息及び受取配当金	△996	△1,099
仕入割引	△1,551	△1,653
支払利息	2,223	2,218
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,537	—
保険解約損益(△は益)	232	—
固定資産売却損益(△は益)	△71	—
売上債権の増減額(△は増加)	31,750	8,326
未収入金の増減額(△は増加)	△10,075	△759
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,420	△53,229
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,668	△1,075
未払金の増減額(△は減少)	△13,868	△3,270
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,638	△2,708
その他	△2,921	△2,306
小計	△10,789	△34,401
利息及び配当金の受取額	980	1,084
利息の支払額	△2,014	△2,287
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12,725	△7,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,547	△42,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△233,900	△233,900
定期預金の払戻による収入	233,900	233,000
投資有価証券の売却による収入	33,600	—
有形固定資産の取得による支出	△7,403	△10,983
有形固定資産の売却による収入	71	—
無形固定資産の取得による支出	△2,433	△1,486
貸付けによる支出	△480	—
貸付金の回収による収入	185	202
保険積立金の積立による支出	△8,465	△8,435
保険積立金の解約による収入	3,367	—
その他	2	△2,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,444	△23,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	—
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△114,084	△117,776
リース債務の返済による支出	△4,870	△3,171
配当金の支払額	△10,398	△6,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	△149,352	72,119
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△155,455	5,444
現金及び現金同等物の期首残高	1,182,137	1,132,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,026,682	※ 1,137,726

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書の「重要な会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症に関する仮定に重要な変更はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（その他注記事項）

（四半期連結損益計算書関係）

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
荷造運送・保管費	161,270千円	169,769千円
給料手当及び賞与	136,319	135,434
研究開発費	17,698	18,193
退職給付費用	8,628	8,233
役員退職慰労引当金繰入額	5,500	4,900
賞与引当金繰入額	17,931	21,493

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
現金及び預金勘定	1,260,282千円	1,373,126千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△233,600	△235,400
現金及び現金同等物	1,026,682	1,137,726